

HAPIC2023

開催概要報告



2024年2月
NPO法人 国際協力 NGO センター (JANIC)

1. HAPIC2023 開催概要



■タイトル：課題解決の先へ。HAPIC－HAPPINESS IDEA CONFERENCE

■目的：グローバルな社会課題解決に関わるアクターが集い、学び、議論し、新しいアイデアやパートナーとの出会いを通して、社会課題解決を促進すること。

■開催日時：2023年11月11日（土）10:00-19:30

■会場：KFC Hall&Rooms（東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル）
オンライン：ライブ配信およびアーカイブ配信

■特徴：①グローバル社会課題解決の最前線で活躍するスピーカーによる21のセッション
②NGO・NPOと支援・連携・サービスを提供する組織のブース出展
③レセプション、交流スペースなど3日間を通じたネットワーキング
④学生アイデアコンテスト表彰

■参加費：

チケット種類	超早割 9/1～ 10/4	早割 10/5～ 10/31	通常 11/1～	団体割 5～9名 (1名あたり)	団体割 10名以上 (1名あたり)
JANIC正会員	¥5,000	¥6,000	¥7,000	¥5,500	¥4,500
一般	¥8,000	¥9,000	¥10,000	¥8,500	¥7,500
学生(大学生・大学院生) ※高校生以下は無料	¥1,000	¥2,000	¥3,000	-	-
オンラインチケット	¥5,000/学生(大学生・大学院生)¥1,000				
レセプション	¥3,500				

■参加者数：389人（リアル会場参加166名、オンライン参加者223人*）

*オンラインは延べ人数

■セッション登壇者数：67人

■助成：MRAハウス、大竹財団、日本労働組合総連合会、庭野平和財団、立正佼成会一食平和基金

■協賛：ETIC、NPOサポートセンター、ジャパン・プラットフォーム、真如苑、Syncable (STYZ)、セイエン、日本非営利組織評価センター、日本ファンドレイジング協会、パデコ、妙智會

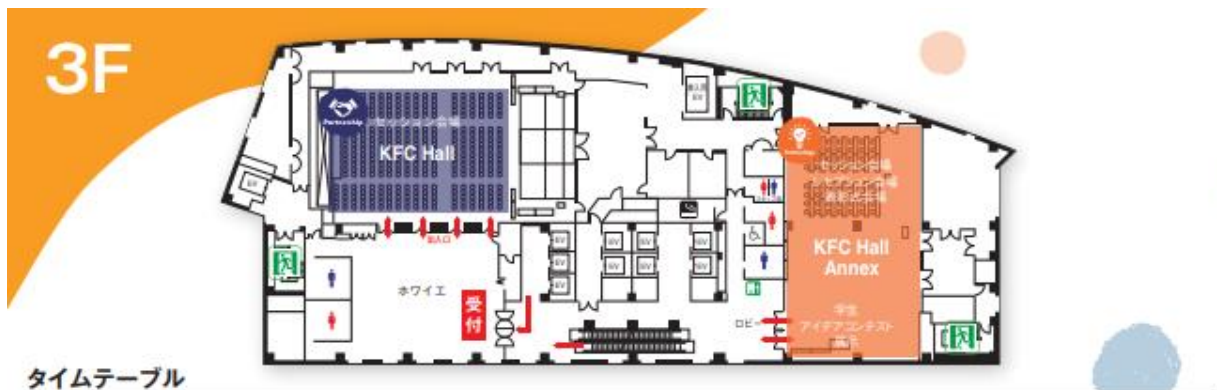
■協力：EMA、らーのろじー、ライノ・コネクト

■後援：SDGs市民社会ネットワーク、外務省、自治体国際化協会、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)、新公益連盟、日本NPOセンター

■主催：国際協力NGOセンター (JANIC)

2. プログラム/セッション

- (1) セッション数：21 (HAPIC2022：31、HAPIC2021：29、HAPIC2020：16)
- (2) レセプション、学生アイデアコンテスト実施



タイムテーブル

3F KFC Hall	3F KFC Hall Annex
<p>10:00~11:00 オープニングセッション</p> <p>I 紛争地で活躍するNGOリーダーが見つけた平和のつくり方</p> <p>紛争地で活動するNGOのリーダーが最前線での平和のために何を考え実践しているかを、ジャーナリストと対話し合います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 永井隆志 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ② 藤谷みどり (NPO法人Reach Alternatives (REALs) 理事長) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ④ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ⑤ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) 	<p>11:30~12:30 ブレイクアウトセッション</p> <p>II テクノロジーって難しい? NGOリーダーにITの活用を聞いてみた</p> <p>NGOのリーダーはITをどのように活用しているのか、最先端の情報ではなく、NGOのリーダーたちの日常的な使い方や向き合い方について、対話形式でお話します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ② 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ④ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ⑤ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事)
<p>11:30~12:30 ブレイクアウトセッション</p> <p>III Synergy Talks:企業とNGOの対話でつくる公正な未来</p> <p>企業とステークホルダーの対話を促すためにTHINK Lobbyが開発したセルフチェックリストをもとに、「公正な社会」のために企業ができることや世界の動向、日本の企業が取り組むべき課題について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (THINK Lobby CSJプロジェクトリサーチャー) ② 菅原 真 (THINK Lobby CSJプロジェクトコーディネーター) ③ 菅原 真 (THINK Lobby 所長) ④ 菅原 真 (世界の国連代表 事務局長) ⑤ 菅原 真 (株式会社JTB 人事部 CSR&SDGグループ 主査) 	<p>13:00~13:40 HAPIC学生アイデアコンテスト表彰式</p> <p>HAPIC学生アイデアコンテスト表彰</p> <p>テーマ「スマートフォンを活用した平和へ導くアイデアは？」に応募いただいた全アイデア作品の中から最優秀賞、優秀賞、特別賞に選ばれた3名(及びグループ)の表彰を行います!</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ② 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事)
<p>12:45~13:30 ランチタイムセッション</p> <p>IV 成長戦略としてのNGO-企業連携を考える -双方担当者からの声-</p> <p>企業とNGOの接点や関係性の実態はどのようなものでしょうか。企業側、NGO側からの本音を聞くことで、今後の双方の協力について考察します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ② 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ④ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ⑤ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) 	<p>13:45~14:45 ブレイクアウトセッション</p> <p>V ITツールを活用したNGOの組織内DX</p> <p>NGO向けサービスを提供している企業・団体が、そのサービスをどんなNGOに提供してほしいか? どういうサービスにしていきたいか? などについて語ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (株式会社STYZ 執行役員CTO, Syncbase 事業責任者) ② 菅原 真 (NPO法人NPOサポートセンター 専任理事・事務局長) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ④ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ⑤ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事)
<p>13:45~14:45 ブレイクアウトセッション</p> <p>VI ビジネスと人権の課題に対するコレクティブ・インパクトでの挑戦 ~政府、企業、NGOの強みを活かす連携のあり方とは</p> <p>カカオチョコレート産業における実践を取り上げながら、多セクターの効果的な連携のあり方や今後の可能性について語ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (株式会社コナック サステナブルイノベーション 専任理事) ② 菅原 真 (NPO法人ACE 副代表・共同創業者) ③ 菅原 真 (NPO法人ACE 副代表・共同創業者) ④ 菅原 真 (NPO法人ACE 副代表・共同創業者) ⑤ 菅原 真 (NPO法人ACE 副代表・共同創業者) 	<p>15:15~16:15 ブレイクアウトセッション</p> <p>VII 閉鎖か、拡大か:アジアにおける市民社会スペースの現在 ~カンボジアとパキスタンのCSOから学ぶ~ (Closed or expanded: civic space in Asia today)</p> <p>市民社会組織が自由に活動できる空間を指す「市民社会スペース」の縮小が、世界的な問題です。アジアのNGOと共に民主主義に欠かせない市民社会スペースと選挙について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (Joyns Mohan) アジア民主主義連盟 地域コーディネーター (Asia Development Alliance, Regional Coordinator) ② 菅原 真 (Marc Philo Rovins) アジアセンター 研究マネージャー (Asia Centre, Research Manager) ③ 菅原 真 (Zaheer Rehman) パキスタン開発連盟 代表 (Pakistan Development Alliance, National Chair)
<p>15:15~16:15 ブレイクアウトセッション</p> <p>VIII 「インパクト」をどうとらえるか -社会価値と企業価値の両立を目指して-</p> <p>企業とNGOがそれぞれ連携を通じSDGsへのインパクトをどうもたらすことができるのか、を考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事、慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授) ② 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事、慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事、慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授) ④ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事、慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授) ⑤ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事、慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授) 	<p>18:00~19:30 レセプション</p> <p>リアルにつながる! HAPIC2023レセプション</p> <p>立食形式で、カジュアルな雰囲気の中、新たな出会いや再会を楽しむことができる機会です。 ※事前申込者対象(当日参加のご希望は受付にお問い合わせください。)</p>
<p>16:45~17:30 クロージングセッション</p> <p>IX 対話の力~内なる変化が世界を変える~</p> <p>HAPICでの学び、出会いを自分の成長につなげ、どのように組織、社会の課題解決の取り組みにつなげていくか、「対話の力」とは何か、について参加者と一緒にじっくりと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ② 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) ③ 菅原 真 (NPO法人アウソブインターナショナル 代表理事) 	<p>10:00~19:30 HAPIC学生アイデアコンテスト作品展示</p> <p>HAPIC学生アイデアコンテスト</p> <p>最終審査まで残ったアイデア作品を展示します!</p>



タイムテーブル

11F Room 111

11:30~12:30 ブレイクアウトセッション 平和

**支援事業の現場で宗教ができること
~開発・紛争・災害 支援で平和をつくる**

海外や日本における宗教者との連携事例を題材に、支援事業の現場で宗教の果たしうる役割とは何かについて考えます。

- ① 亀岡伸樹 (WFP日本代表団 事務局長、アジア太平洋平和会議(ACIP) 事務局長)
- ② 大曾俊幸 (公益社団法人ジャパン・インターナショナル (JVA) 専門アドバイザー 豊田国際社会研究センター 講師)
- ③ 高島貴子 (NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン 支援事業第1部 人権・難民事業推進部 コア・プログラムのコーディネーター)
- ④ 大森功一 (世界銀行 東アジア事務 上級技術保障官)
- ⑤ 高下節郎 (NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン 情報技術開発部)

12:45~13:30 ランチタイムセッション

**支援の現地化
~ローカライゼーションをできることから~**

支援の現地化はNGOの重要な課題です。支援活動の効果を最大化し、持続可能な変化を促進するための現地リソースの活用、ローカルなコミュニティとの強力な連携の実現を考えます。

- ① 赤出悦子 (NPO法人グローバルプラットフォーム 事業推進副委員長 事業評価部部長 事務支援部長)
- ② 藤井真由子 (公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業部長)
- ③ 立川千晶 (NPO法人難民支援財団 (AAR Japan) 事務局長)
- ④ 東島新子 (NPO法人ボランティア・センター・ジャパン 事務局長)

13:45~14:45 ブレイクアウトセッション 平和

**いま起きている戦争にどう向き合うか？
人道支援、軍事支援と私たち**

イラク戦争、アフガニスタン戦争時のNGOの動きも振り返りながら、戦争や紛争に対してNGOが果たすべき役割や可能性について考えます。

- ① 今井貴博 (NPO法人日本国際ボランティアセンター (JVC) 代表理事)
- ② 藤岡真由子 (公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 上智大学学友)
- ③ 堀江未智 (NPO法人国際ボランティアセンター (JVC) インターン、上智大学学友)

15:15~16:15 ブレイクアウトセッション 平和

**民主主義は私から始める
~ウクライナから考える民主主義と寛容の中で生きる方法~**

ウクライナにおける戦争の経験や、世界各国におけるウクライナ難民の受け入れの必要性を例に、民主主義と寛容の意味と重要性を考えます。

※本セッションは主に英語にて実施し、通訳はございません。

- ① アンソニー・ボグワース (ボランティア・インターナショナル アドボカシーグループ)
- ② 高島貴子 (ボランティア・インターナショナル アドボカシーグループ リーダー)
- ③ 山形文 (ボランティア・インターナショナル プログラム・ディレクター)
- ④ 青林有希 (THINK Lobby 代表)

11F Room 113

11:30~12:30 ブレイクアウトセッション 共生社会

**外国人と共に生きる社会へ
-多文化共生を推進する
官民連携のあり方とは？**

日本の外国人受け入れをめぐる状況が大きく変化の中で、官民連携による多文化共生社会の形成をどのように進めていけば良いのかを、地域の事例も交えて議論します。

- ① 藤原 友希 (自治体行政 国際交流)
- ② 田村太郎 (一般財団法人ダイバーシティ・研究所 代表理事)
- ③ 新屋みどり (NPO法人国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター)
- ④ 石川 けい (財団法人国際支援協会 代表理事)
- ⑤ 山崎健治 (人と心の社会開発研究所 代表)

12:45~13:30 ランチタイムセッション

**対話セッション:
ジェンダーについて話しあおう!
私たちの生活の中の社会規範とは**

ジェンダー (社会・文化的な性差) とジェンダー規範 (ジェンダーの違いにより期待される振る舞い・ルール) について考え、誰もが生きやすいより平等な社会をつくるためのアイデアを出していきます。

- ① 竹下裕司 (NPO法人シラカネ・市川による海外協力のみキバール事務局長)
- ② 森島 陽菜 (国際教育センター)
- ③ 藤原真由子 (財団法人ADRA Japan プログラム・オフィサー)

13:45~14:45 ブレイクアウトセッション 共生社会

**NGOのNext Step:
G7広島サミット / Civil (市民社会組織)
7サミットの課題分析とNGOの役割**

現在の日本のNGOの役割をお話し、海外NGOの動向調査を通じて見えたNGOが将来的に進むべき方向性や課題解決に向けて必要な能力開発の重要性について議論します。

- ① 小島野樹 (NPO法人CWS Japan 事務局長)
- ② 木内真由子 (NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長CT 運営委員)
- ③ 堀内愛 (NPO法人国際ボランティアセンターコア・プログラムのオフィサー THINK Lobby 副会長)

15:15~16:15 ブレイクアウトセッション 共生社会

**「支援」という力を持つ者の責任
~みんなと私を守るために公正で
多様な社会に向けて**

支援活動における性暴力や権力の濫用という問題に着目し、NGO (援助) 業界のパワーシフト、社会規範、当事者の関わりを考えます。

- ① 藤原真由子 (財団法人ADRA Japan プログラム・オフィサー)
- ② 竹下裕司 (国際協力NGOシラカネ・市川による海外協力のみキバール事務局長)
- ③ 金谷真子 (公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン タイムドット・セーフ・ガーディング・スタッフ (JCS))
- ④ 五十嵐 真 (NPO法人CWS Japan プログラム・マネージャー)

11F Room 115

11:30~12:30 ブレイクアウトセッション 気候変動

**開発・安全保障で進む気候主流化:
開発NGOが取り残されないために**

気候変動が国際的にも大きく議論スペースを占めるようになってきました。開発NGOと気候・環境NGOが共により強い日本の市民社会を形成するために、気候主流化の現実について深掘りします。

- ① 伊年 昌高 (国際環境NGO 350.orgジャパン・キャンペーン・マネージャー 東京大学大学院 客員教授)
- ② 藤原真由子 (公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー 部長)
- ③ 高島貴子 (ボランティア・センター・ジャパン 職員)
- ④ 山崎 友貴 (センター・プロジェクト シニアスペシャリスト)

12:45~13:30 ランチタイムセッション

**NGOスタッフの働き方のリアル
~働く環境改善と採用難のなぜ?**

NGOの働き方は大きく変わったはずなのに、求人の応募や採用につながらないのはなぜなのか?労働環境の改善や採用の悩み、工夫を共有し、今後のアクションとなるヒントを探ります。

- ① 藤田 幸 (NPO法人ハンガリー・ワールド・プラットフォーム 事務推進オフィサー)
- ② 加藤 利美 (NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン 人事・総務課 採用担当)
- ③ 伊藤 智子 (NPO法人日本国際ボランティアセンター (JVC) 事務局長)

13:45~14:45 ブレイクアウトセッション 気候変動

**気候危機×DRR×多文化共生
~誰にとっても安心・安全な地域をつくる~**

自然災害からの被害を軽減するためのJICA、NGO、行政の取り組みを知り、誰もが安心して安全に暮らせる地域づくりへ向けた課題、さらなる連携の可能性について考えます。

- ① 松元 秀 (JICA 国内事務部長 市民参加推進課長)
- ② 村岡 謙次 (東京都 生活文化スポーツ局 都市生活部 課長代理 (活動支援課 課長補佐))
- ③ 藤井 裕美 (シラカネ・市川による海外協力のみ)
- ④ 市民による海外協力のみ 市民アカウンタブル・パートナーシップ
- ⑤ 小島 野樹 (シラカネ・市川による海外協力のみ 事務局長)

15:15~16:15 ブレイクアウトセッション 気候変動

**新しいNGO&若者のパートナーシップ:
セクターの将来に向けたワークショップ**

NGOと若者の力を最大限に活かすパートナーシップを築くために、ユースが主体的に行動できる環境整備アイデアをディスカッションし、セクターの将来に向けた取り組みを検討します。

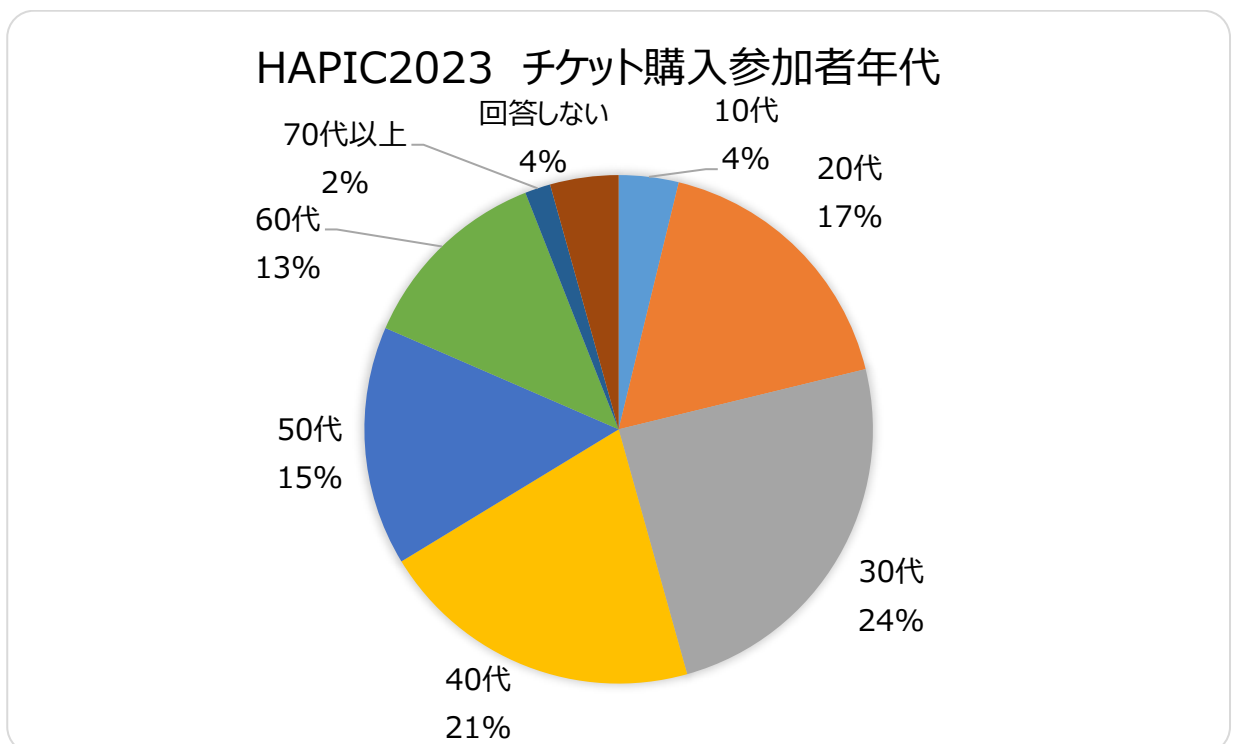
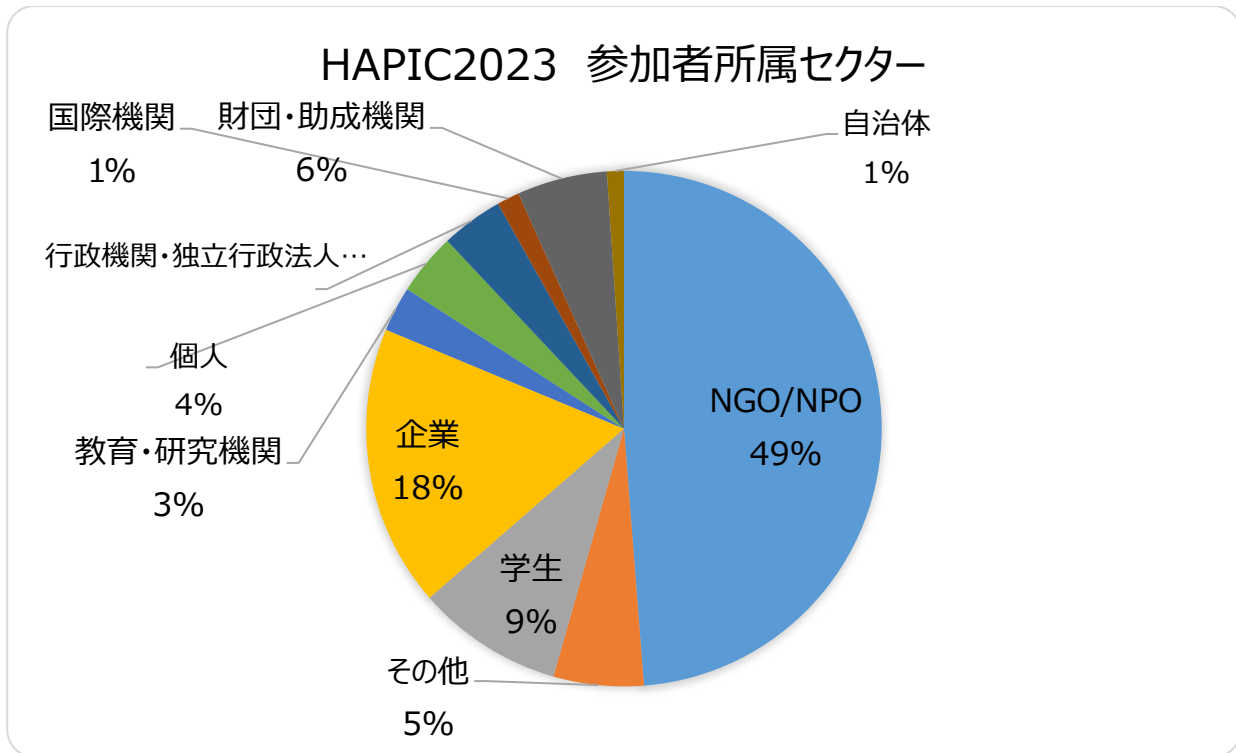
- ① 山口 知佳 (一般社団法人環境パートナーシップ推進 マネージャー)
- ② 高橋 佳 (SDHRユース・アドバイザー、メンバー)
- ③ 藤田 千登 (国際環境NGO グリーン・ピース・ジャパン コミュニティ・アウトリーチ 担当)
- ④ 川崎 知子 (明治大学大学院、FFF Tokyo オフィス、ワタシとタイ事業部)
- ⑤ 山口 智寿 (環境問題と社会問題の対話プラットフォーム (JPS) 理事 事務局長)

3. 参加者概要

▶参加者数：389人（リアル会場参加166名、オンライン参加者223人*）

*オンラインは延べ人数

▶参加セクター分類：NGO/NPO（49%）、企業（18%）、政府・国際機関（4%）、学生（9%）、研究機関・大学（3%）、財団（6%）、自治体（1%）、メディア他からの参加があった。



4. 参加者・登壇者アンケート結果

	参加者	登壇者・出展者
回答期間	2023/11/13-2023/12/	
回答方法	オンライン（Google フォーム）での回答	
設問数	28 問	26 問
回答率	18% (52 名/289 名)	40% (40 名/100 名)

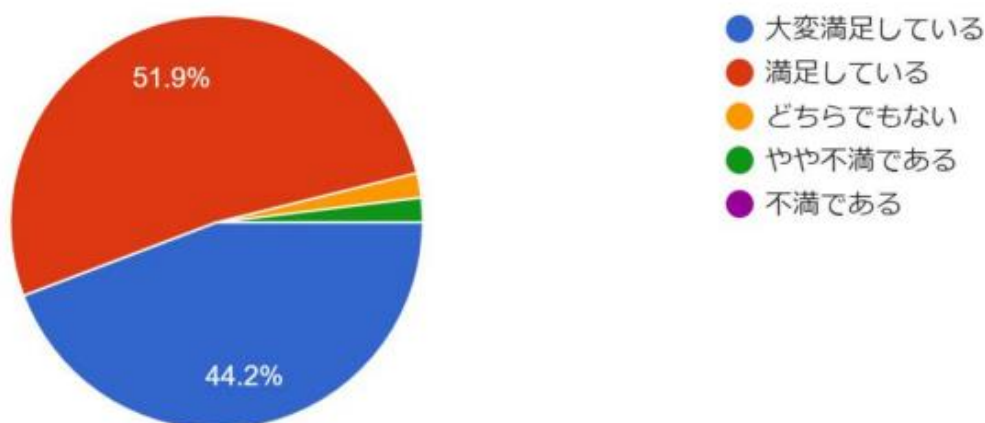
①参加者アンケート結果

■HAPIC への全体満足度 | 参加者アンケート

HAPIC に満足したと回答した人は 96.1%（前回 76%）（回答者 52 名中 49 名）であった。

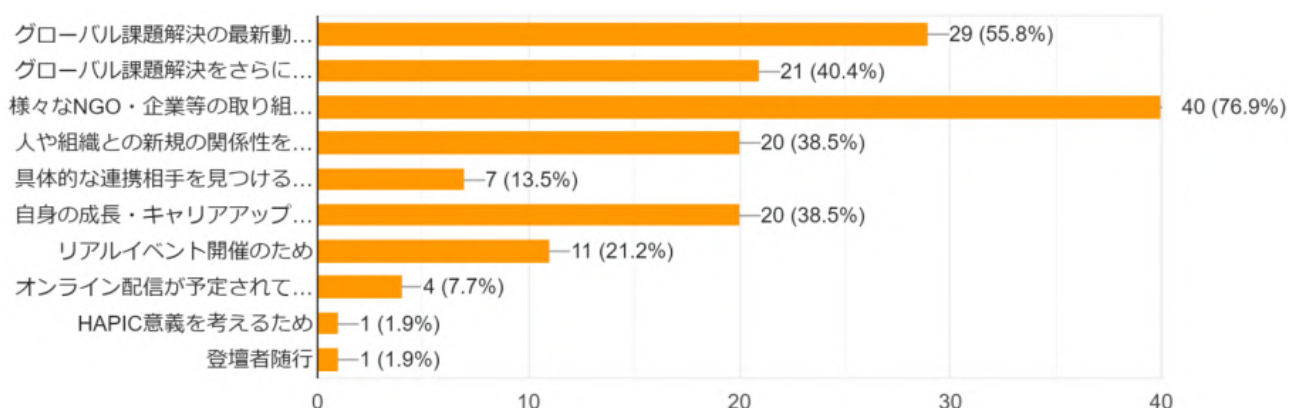
「大変満足している」44.2%（前回 21.8%）、「満足している」51.9%（前回 54.5%）。

「どちらでもない」「やや不満である」「不満である」は 3.9%（前回 23.6%）。



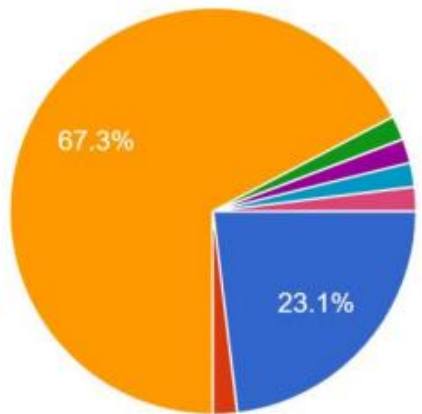
■HAPIC 参加目的 | 参加者アンケート

参加目的は、「様々な NGO の取り組みを知るため」76.9%（前回 58.2%）、「グローバル課題解決の最新動向を知るため」55.8%（前回 80.0%）、「グローバル課題解決をさらに前に進めるアイデアを得るため」76.9%（前回 60.0%）、「人や組織との新規の関係性を構築するため」38.5%（前回 21.8%）、「自身の成長・キャリアアップのため」38.5%と続いた。



■セッション数・セッション時間 | 参加者アンケート

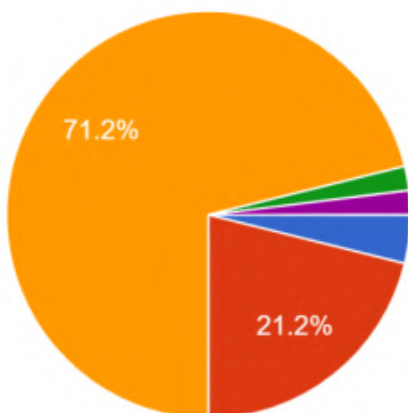
- セッション数：21（前回 31）
「ちょうどよい」 67.3%（前回 69.1%）
「多い」 23.1%（前回 29.1%）



- 多い
- 少ない
- ちょうどいい
- オンライン参加で、アーカイブ視聴前のため不明
- 判断はつきかねます。
- 実行者と参加者によって異なると思われる。
- セッションが多いのは魅力的だが、受けたい講義が被ってしまうため、2日に...

セッションが多いのは魅力的だが、受けたい講義が被ってしまうため、2日に分ける・テーマを絞るなどを検討していただけるとありがたいです

- 時間：基本 60 分
「ちょうどよい」 71.2%（前回 65.5%）
「短い」 21.2%（前回 32.7%）



- 長い
- 短い
- ちょうどいい
- 均一ではなく、長いのと短いのを設けるのが良いと思います。
- ディスカッション時間は短かったかもしれない。

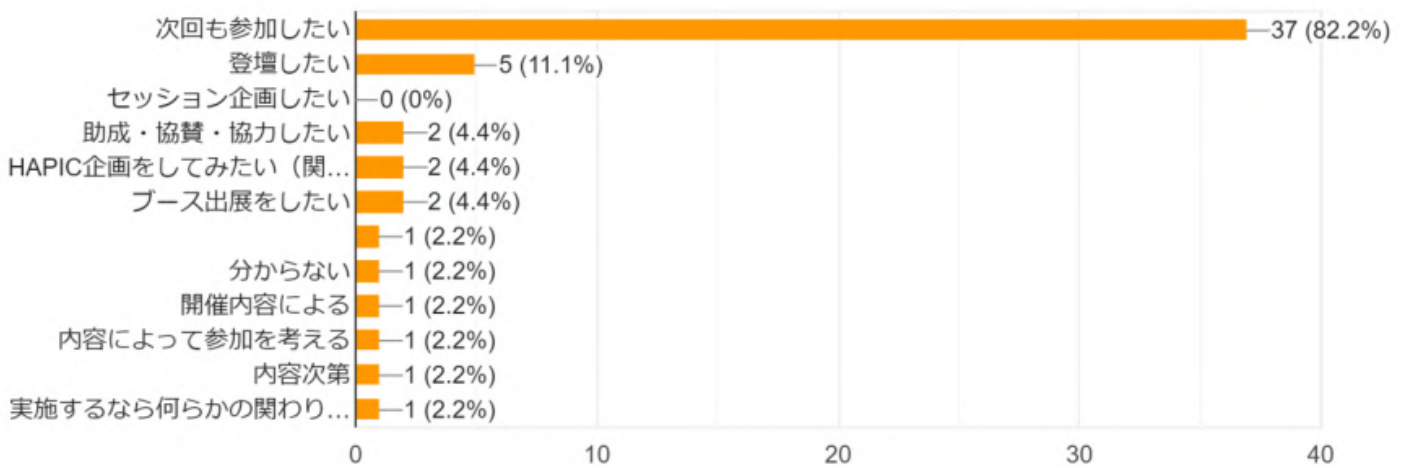
■HAPIC 参加で実現できたこと | 参加者アンケート

- ・一番実現できたこと：「最新情報や必要な知識の入手」40.4%、「次世代・新しい人や組織とのネットワーキング」23.1%、「課題解決に取り組むモチベーションの向上」25%



■次回 HAPIC への関わり方 | 参加者アンケート

- ・「次回も参加したい」82.2% (前回 95.7%)



参加者アンケートコメント：

■HAPIC への全体満足度とその理由

- ・対面であることも、とても良かったです
- ・どのセッションも活動する上でのヒントが必ずあったので。
- ・普段出会うことの少ないNGOの方とお話できたため。
- ・新たな事を多く学ぶことができました。今後の物事の考え方に影響すると思います。
- ・NGOさんとの接点の持ち方に悩んでいたが、企業でも関係なく意見を出すことで、今後連携できる可能性について確認することができたため。
- ・会場ごとのセッション時間が統一されていればよかったです。
- ・幅広いセクターからの登壇者
普段考えないこと、触れない情報に触れることができたとともに、新たな繋がりができた。
- ・"コロナ禍の影響により、この規模でできる催しはまだ少ないなか、開催されたこと。登壇された方々が多様な人たちで、年代やジェンダーなどのバランスは悪くなかったこと。もっとも拝聴したかったセッションがオンラインで参加できなかったのが少し残念です。"
- ・大変温かみのある空間で、学び、出会い、とてもうれしくありがたい者でした。

■改善すべき点

- ・若者にとって参加しづらい価格設定に感じました。
- ・JANICの方ともお話しする時間がほしかったかもしれません！
- ・セッションのボリュームと時間配分

オンライン参加者は、後日の配信でいいかもしれません。

参加費を下げると学生、年金生活者、ほか、より参加しやすいかもしれないと感じました。

参加料がより安価にしてくれると所属団体の他の職員にも参加を強く推奨できる

・会場が少しアクセスしづらいように感じた・同じセッション参加者ともう少し交流する機会があれば嬉しかった（レセプションがその役目かと思いますが、時間的に参加が叶わなかったため、セッション内で話す時間があると尚ありがたい)

■HAPIC 全体へのコメント

・運営などお疲れ様でした。会場開催は久しぶりで、ハイブリッドも大変だったと思いますが、とてもスムーズに参加できました。ありがとうございました。

・久々の対面イベント、ご準備大変だったかと思います。よい時間をありがとうございました。

・オープニングセッションは、紛争に関連する活動をしてきた方々のお話が現実的で臨場感がありました。初めて聞く方々、特に若い人達が、活動を始めやすいように、自分達も悩んできたし、今も日々、苦勞しながら、疲弊しながら、でもやってる、という、そっとはげます感じで、とても良かったです。企画、実施、ありがとうございました。

・大変貴重でありがたいイベントです。今後も是非継続していただければ、是非参加させていただきたいと思います。

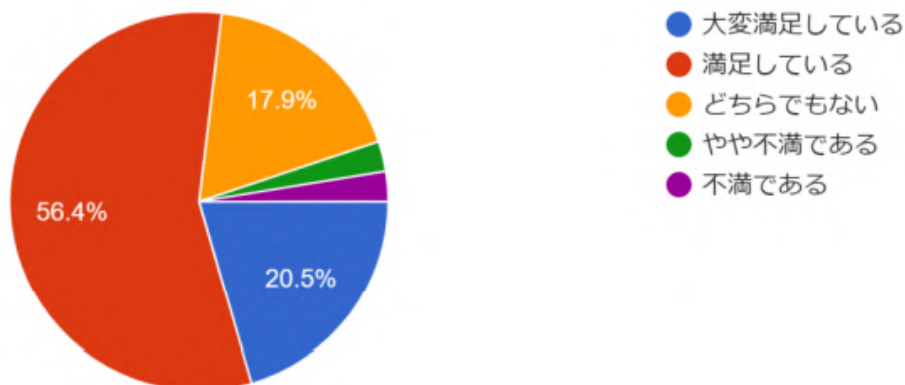
・第一線で活躍されている皆さんのクオリティの高いセッションがたくさん。新しい出会いだけでなく、1年に一度の支援業界の同窓会的な位置づけにもなっているように思います。

②登壇者・出展者アンケート結果

■HAPIC への全体満足度 | 登壇者アンケート

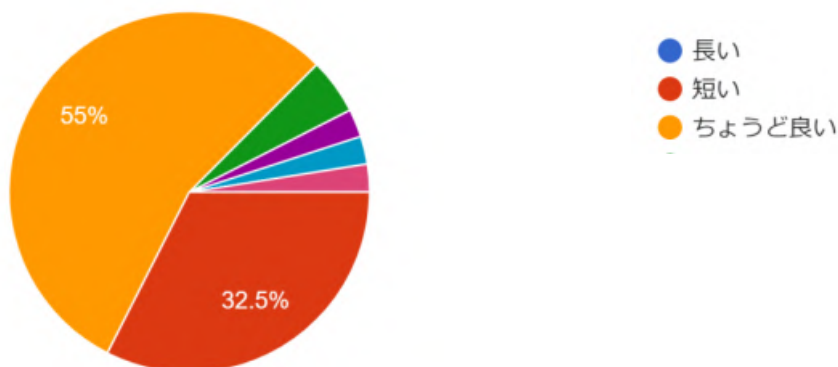
HAPIC に満足したと回答した人は 86.9 (前回 85.7%)。

「大変満足している」 20.5% (前回 20.0%)、「満足している」 56.4% (前回 65.7%)、
「どちらでもない」 17.9% (前回 14.3%)。



■1セッション当たりの時間

「ちょうどよい」 55% (前回 71.4%)、「短い」 32.5% (前回 28.6%)、「長い」 0% (前回 0%)



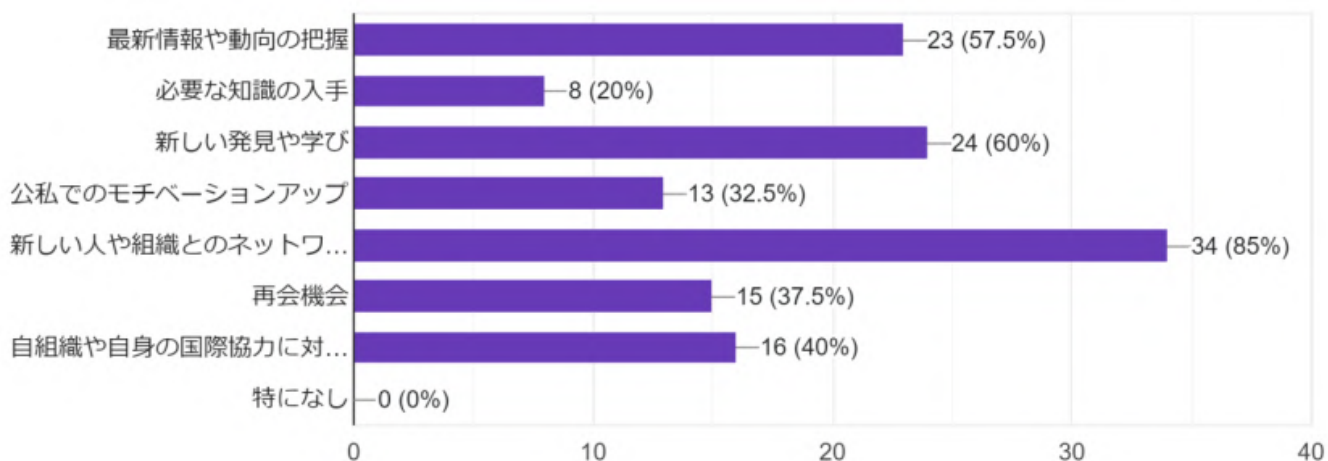
■セッション企画・登壇を通して期待したこと

「組織間・セクター間の連携促進」 57.5%、「NGO/NPO セクターの成長・改善」 17.5%、
「国際協力関係セクターの成長・改善」 15%と続いた。



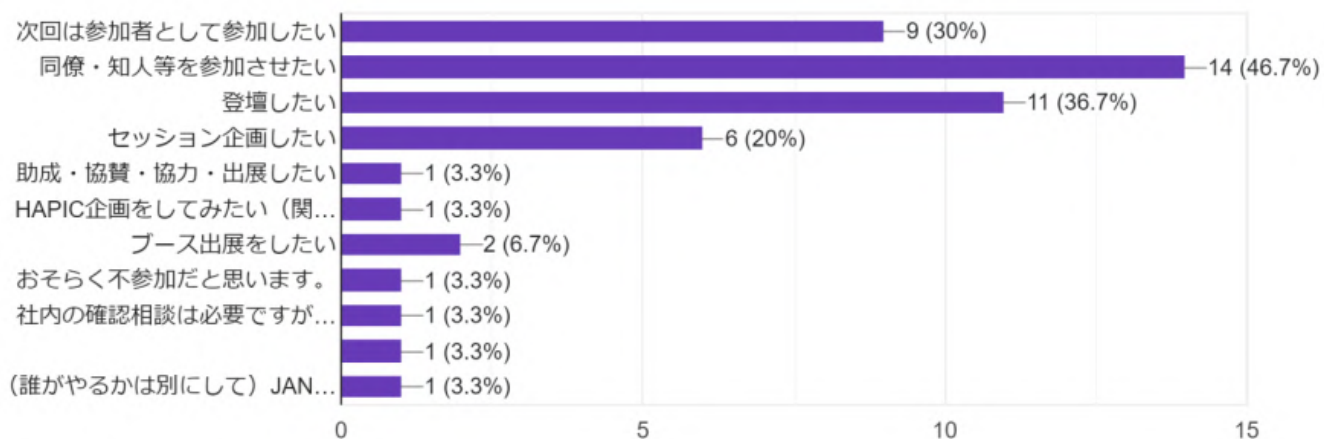
■登壇セッションを通して視聴者が得られると思われること（複数回答）

「新しい人や組織とのネットワーキング」85%（前回 45.7%）、
 「新しい発見や学び」60%（前回 74.3%）、
 「最新情報や動向の把握」57.5%（前回 60%）、
 「自組織や自身の国際協力に対する意義・役割などの再確認」40%（前回 54.3%）



■次回 HAPIC への関わり方（登壇者/出展者）

「同僚・知人等を参加させたい」46.7%（前回 20.0%）
 「登壇したい」36.7%（前回 26.7%）
 「次回は参加者として参加したい」30%（前回 26.7%）
 「セッションを企画したい」20.2%（前回 26.7%）



登壇者アンケートコメント抜粋：

■セッション企画・登壇を通して期待したこと

- ・ 開発協力NGOの活動における気候変動要素の統合
- ・ 様々なセクター間のつながり、連携の促進
- ・ 市民社会と企業との対話の促進
- ・ NGO/NPOの組織運営上の共通課題の把握、セクターとして連携して取り組むべきイシューの確認など
- ・ NGOの多文化共生領域への参画
- ・ SDGが進み、インパクト投資が進む中で、国際協力のステージは明確に次に来ていると思っています。NGOの役割も世界的にも進化しているので、その息吹を感じたかった

■HAPIC への全体満足度とその理由をおしえてください

- ・ 予想以上に楽しくできました。
- ・ 現場で取り組んでいるNGOの方の視点で、世界情勢や日本政府の動きを把握できました。
- ・ もうちょっと金額が安くても良かったと思います！ただとても有意義で代えがたい経験でした
- ・ 久しぶりの対面型の大きな会議で、多くの方々と再会したり、新たな出会いの場として大変貴重な機会でした。セッションを通じた学びや気づきも得られました。

■HAPIC 全体に関して、良かった点や改善すべき点、ご要望等

- ・ 限られた時間内に複数のセッションが行われ、様々な関心に対応していると思うが、同時に開催するセッションが多すぎると感じた。参加者が少ないセッション、短時間だけ参加してセッション会場を回遊する参加者が見られた。もう少しセッション数を減らして参加者がじっくり参加できた方がより大きなインパクトにつながると思った。
- ・ ロジ的な面はおおむねスムーズでした。オンライン登壇者との音声共有に少し課題がありました。
- ・ 登壇者と名刺交換したくてリアル参加しましたが、登壇者がオンライン参加のケースや、リアルでもセミナー後にすぐ移動されてしまったりと、ネットワーキングができなかったのがやや残念です。
- ・ ハイブリッドでもあり、リアル参加者数がそれほど多くないので、分科会の会場はもっと狭くてもいいと思った。あまり広いと、参加者が少ない印象も持ってしまうので。

PROGRAMS



セッション

グローバルな社会課題解決の最前線で活躍するNGOや企業、有識者によるトークセッションやパネルディスカッションを開催します。



交流・ワークショップ

NGOや企業、学生が世代とセクターを超えて出会う、交流やキャリア相談などのネットワーキング企画を展開します。



ブース展示

NGO・NPOと連携・サービス提供をされたい企業による出展・展示を行います。



学生アイデアコンテスト

若い世代の社会課題解決アイデアの紹介や、応募アイデアの入賞者を表彰するアワードを開催します。



01

11/11 Sat 10:00-11:00

3F KFC Hall

オープニングセッション

紛争地で活躍するNGOリーダー
が見つけた平和のつくり方
～今、平和のためにできること～

永井陽右
NPO法人アクセプト・インターナショナル 代表理事

瀬谷ルミ子
NPO法人Reach Alternatives (REALs) (リアルズ(リーチオルタナティブズ)) 理事長
JCCP M株式会社 取締役

鬼丸昌也
NPO法人テラ・ルネッサンス 創設者・理事

堀潤
ジャーナリスト
NPO法人8bitNews 代表理事
株式会社GARDEN 代表



02

11/11 Sat 11:30-12:30

3F KFC Hall

パートナーシップ

ブレイクアウトセッション

Synergy Talks: 企業とNGOの対話でつくる公正な未来

敦賀和外
THINK Lobby CSJプロジェクトリサーチャー

土井陽子
THINK Lobby CSJプロジェクトコーディネーター

若林秀樹
THINK Lobby 所長

米良彰子
世界の医療団日本 事務局長

葉山木綿
株式会社IHI 人事部 DE&Iグループ 主管



03

11/11 Sat 13:45-14:45

3F KFC Hall

パートナーシップ

ブレイクアウトセッション

ビジネスと人権の課題に対するコレクティブ・インパクトでの挑戦
～政府、企業、NGOの強みを活かす連携のあり方とは

飯田智晴
株式会社ロッテ サステナビリティ推進部 企画課 課長

鶴尾雅隆
認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 代表理事

白木朋子
特定非営利活動法人ACE 副代表・共同創業者

松井宏樹
外務省 総合外交政策局人権人道課 企画官

山下契
独立行政法人国際協力機構 (JICA) ガバナンス・平和構築部法・司法チーム 課長



パートナーシップ

04

11/11 Sat 15:15-16:15

3F KFC Hall

ブレイクアウトセッション

『インパクト』をどう捉えるかー社会
価値と企業価値の両立を目指して

伊藤健

特定非営利活動法人ソーシャルバリュー
ジャパン 代表理事

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
特任准教授

赤堀久美子

リコージャパン株式会社 経営企画本部コー
ポレートコミュニケーションセンター SDGs
推進グループ グループリーダー
国際協力NGOセンター 理事

小林真

株式会社博報堂 ブランド・イノベーション
デザイン局 イノベーションプランニングディレ
クター

岩附由香

特定非営利活動法人ACE 代表
国際協力NGOセンター 副理事長



テクノロジー・他

05

11/11 Sat 11:30-
12:30

3F KFC Hall Annex

ブレイクアウトセッション

テクノロジーって難しい? NGOリ
ーダーにITの利活用を聞いてみた

荒井昭則

特定非営利活動法人コンフロントワールド
代表理事

棚田雄一

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジ
ャパン 専務理事・事務局長

鬼丸昌也

認定NPO法人テラ・ルネッサンス創設者・理
事
NPO法人国際協力NGOセンター 理事長

岩附由香

特定非営利活動法人ACE 代表
NPO法人国際協力NGOセンター 副理事長



テクノロジー・他

06

11/11 Sat 13:45-
14:45

3F KFC Hall Annex

ブレイクアウトセッション

ITツールを活用したNGOの組織
内DX

井上祐作

株式会社STYZ 執行役員CTO
Syncable 事業責任者

小堀悠

(特活)NPOサポートセンター 常務理事・事
務局長

瀬上倫弘

公益財団法人日本非営利組織評価センター
マネージャー

荒井昭則

特定非営利活動法人コンフロントワールド
代表理事



テクノロジー・他

07

11/11 Sat 15:15-16-15

3F KFC Hall Annex

ブレイクアウトセッション

閉鎖か、拡大か：アジアにおける市民社会スペースの現在
～カンボジアとパキスタンのCSOから学ぶ～(Closed or expanded: civic space in Asia today) (言語:英語)

ジョツナ・モハン(Jyotna Mohan)
アジア民主主義連盟 地域コーディネーター
(Asia Development Alliance, Regional Coordinator)

マルク・ピニョル・ロヴィラ(Marc Piñol Rovira)

アジアセンター 研究マネージャー(Asia Centre, Research Manager)

ジア・ウル・レーマン(Zia-ur-Rehman)

パキスタン開発連盟 代表(Pakistan Development Alliance, National Chair)



平和

08

11/11 Sat 11:30-12:30

11F Room111

ブレイクアウトセッション

支援事業の現場で宗教ができること
～開発・紛争・災害 支援で平和をつくる～

篠原祥哲

WCRP日本委員会 事務局長
アジア宗教者平和会議(ACRP) 事務総長

大菅俊幸

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA) 専門アドバイザー
青洞宗総合研究センター 講師

西島恵

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 支援事業第1部人道・開発事業第3課
シニア・プログラムコーディネーター

大森功一

世界銀行 東京事務所 上級対外関係担当官

長下部穰

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 信仰と開発担当



平和

09

11/11 Sat 13:45-14:45

11F Room111

ブレイクアウトセッション

いま起きている戦争にどう向き合うか？ 人道支援、軍事支援と私たち

今井高樹

NPO法人日本国際ボランティアセンター(JVC) 代表理事

藤岡美恵子

法政大学大学院兼任講師

細川未智

NPO法人国際ボランティアセンター(JVC) インターン、上智大学学生



平和

10

11/11 Sat 15:15-16:15
11F Room111

ブレイクアウトセッション

民主主義は私から始まる～ウクライナから考える民主主義と寛容の中で生きる方法～(言語:英語)

アンナ・シャルホロドウスカー

ブラン・インターナショナル アドボカシーグループ

長島美紀

ブラン・インターナショナル アドボカシーグループ リーダー

山形文

ブラン・インターナショナル プログラム部 シニアオフィサー

若林秀樹

THINK Lobby 所長



共生社会

11

11/11 Sat 11:30-12:30
11F Room113

ブレイクアウトセッション

外国人と共に生きる社会へー多文化共生を推進する官民連携のあり方とは？

草壁京

総務省 自治行政局 国際室長

田村太郎

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

新居みどり

NPO法人国際活動市民中心(CINGA) コーディネーター

石川えり

認定NPO法人難民支援協会 代表理事

山路健造

人とヒトの幸せ開発研究所 代表



共生社会

12

11/11 Sat 13:45-14:45
11F Room113

ブレイクアウトセッション

NGOのNext Step: G7広島サミット/Civil(市民社会組織)7サミットの課題分析とNGOの役割

小美野剛

特定非営利活動法人CWS Japan 事務局長

木内真理子

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長
C7 運営委員

堀内葵

(特活)国際協力NGOセンター シニアアドボカシーオフィサー
市民社会シンクタンク「THINK Lobby」 副所長



共生社会

13

11/11 Sat 15:15-16:15
11F Room113

ブレイクアウトセッション

【支援】という力を持つ者の責任
～みんなと私を守るために公正で
多様な社会に向けて

尾立素子

認定NPO法人ADRA Japan プログラム・オ
フィサー

竹下裕司

国際協力NGOシャプラニール＝市民による
海外協力の会 ネパール事務所長

金谷直子

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパ
ン チャイルド・セーフガーディング・スペシャ
リスト

五十嵐豪

特定非営利活動法人CWS Japan プログラ
ム・マネージャー (Programme Manager)



気候変動

14

11/11 Sat 11:30-
12:30

11F Room115

ブレイクアウトセッション

開発・安全保障で進む気候主流
化：開発NGOが取り残されないた
めに

伊与田昌慶

国際環境NGO 350.orgジャパン・キャンペー
ナー、東洋学園大学非常勤講師

堀江由美子

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパ
ン アドボカシー部 部長

金昌浩

オープンサエティ財団 職員

山田太雲

モニター デロイト シニアスペシャリストリー
ド



気候変動

15

11/11 Sat 13:45-
14:45

11F Room115

ブレイクアウトセッション

気候危機×DRR×多文化共生
～誰にとっても安心・安全な地域
をつくる～

松元秀亮

JICA 国内事業部市民参加推進課長

村田陽次

東京都 生活文化スポーツ局 都民生活部 課
長代理(活動支援国際担当)

勝井裕美

シャプラニール＝市民による海外協力の会
市民アクション推進グループチーフ

小松豊明

シャプラニール＝市民による海外協力の会
事務局長



気候変動

16

11/11 Sat 15:15-16:15

11F Room115

ブレイクアウトセッション

新しいNGO&若者のパートナーシップ:セクターの将来に向けたワークショップ

江口健介

一般社団法人環境パートナーシップ会議 マネージャー

稲荷桃香

SRHRユースアライアンス メンバー

儀同千弥

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン コミュニティアウトリーチ担当

川崎彩子

明治学院大学生
FFF Tokyoオーガナイザー
ワタシのミライ事務局

山口有紗

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム(JYPS) 政策提言部



17

11/11 Sat 16:45-17:30

3F KFC Hall

クロージングセッション

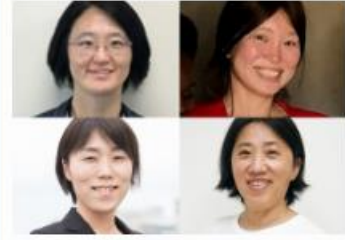
対話の力
～内なる変化が世界を変える～

本間正人

NPO学習学協会 代表理事

鬼丸昌也

NPO法人国際協力NGOセンター(JANIC) 理事長



18

11/11 Sat 12:45-13:30

11F Room111

ランチタイムセッション

支援の現地化～ローカライゼーションでできることから～

井出悦子

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム 事業推進副部長 事業評価副部長 事業管理副部長兼任

藤井麻衣子

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業部長

古川千晶

特定非営利活動法人難民を助ける会[AAR Japan] 事務局長

米良彰子

特定非営利活動法人メドゥッサン・デュ・モンド ジャポン 事務局長



19

11/11 Sat 12:45-13:30

11F Room113

ランチタイムセッション

対話セッション:ジェンダーについて話し合おう!私たちの生活の中の社会規範とは

竹下裕司

(特活)シャブラニール=市民による海外協力の会 ネパール事務所長

谷島緑

明星大学 国際教育センター

尾立素子

認定NPO法人ADRA Japan プログラム・オフィサー



20

11/11 Sat 12:45-13:30

11F Room115

ランチタイムセッション

NGOスタッフの働き方のリアル ～働く環境改善と採用難のなぜ?

儘田由香

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド グローバル人事担当オフィサー

加曾利みき

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 人事・総務課 採用担当

伊藤解子

特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター(JVC) 事務局長
特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC) 理事



21

11/11 Sat 12:45-13:30

3F KFC Hall

ランチタイムセッション

成長戦略としてのNGO-企業連携を考える -双方担当者からの声-

中山雅之

国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科 教授

楯晃次

株式会社EMA 代表取締役

丸原孝紀

株式会社東急エージェンシー SDGs プランニング・ユニット POZI サステナビリティ・プランナー/クリエイティブ・ディレクター

木内真理子

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長
C7 運営委員

PARTNERS

助成



一般財団法人
MRAハウス



一般財団法人
大竹財団
日本労働組合総連合会
(連合)



公益財団法人
庭野平和財団



立正佼成会
一食平和基金

協賛



NPO法人
ETIC



特定非営利活動法人
NPOサポートセンター



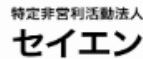
特定非営利活動法人
ジャパン・プラットフォーム



真如苑
真如苑



Syncable
(株式会社STYZ)



特定非営利活動法人
セイエン



公益財団法人
日本非営利組織
評価センター



認定NPO法人
日本ファンドレイジング協
会



株式会社
パデコ



妙智會

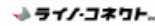
協力



株式会社
EMA



ラーのろじー
株式会社



ライノ・コネクト

後援

一般社団法人
SDGs市民社会ネットワーク

外務省

一般社団法人
グローバル・コンタクト・
ネットワーク・ジャパン
(GCNJ)

独立行政法人
国際協力機構

一般財団法人
自治体国際化協会

特定非営利活動法人
新公益連盟

認定NPO法人
日本NPOセンター